



宇都宮市議会議員

福田ちえの市政だより

市民相談窓口:福田ちえ事務所 〒320-0842 宇都宮市六道町 12-38 TEL.028-636-2737 FAX.028-636-2559

●ホームページ&ブログ <http://www.f-chie.jp> ●E-mail info@f-chie.jp



3月定例議会で6度目の一般質問

【質問項目】

- 1 環境保全型社会に向けた農林業の振興について
- 2 失業者対策について
- 3 「栃木県地域生活定着支援センター」、
「宇都宮圏域障害者就業・生活支援センター」
への支援について
- 4 ※新しい公共 (NPO)について
- 5 市民意見の聴取について
- 6 地域教育の取り組みについて
- 7 第3図書館について
- 8 小中一貫教育について
- 9 子ども行政について
- 10 すべての子ども達のための「シックスクール
問題対応マニュアル」の活用について



※「新しい公共」とは、人を支えるという役割を、行政だけが公共的な財やサービスを提供するということではなく、教育や子育て、街づくり、防犯や防災、医療や福祉などに、地域で関わっていらっしゃる方々一人ひとりにも参加していただき、それを社会全体として応援しようという新しい価値観です。

国民の生活が第一。政治は生活と直結しています！

宇都宮市議会に議席を置いてから早くも3年が経過しました。

その間、皆様からご意見を聞かせていただき、生活者の声、現場の声を行政へ届ける役割の一端を微力ながら精一杯担わせていただいております。

誰もが尊厳を持って生き生きと暮らせる社会を実現するために、生活者の視点で

「ともに変え、ともに守り、ともに生きるまちづくり」を目指してまいります。

過去の質問や詳しい内容は、宇都宮市議会HP「本会議の生中継(過去の映像)」または、「会議録」よりご覧いただけます。 <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/gikai/>

3月議会質問の要旨

1 環境保全型社会に向けた農林業の振興について

20世紀の日本は、環境より経済を重視し、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会を進めてきた。環境問題は今、私たち一人一人が身近な問題として認識し、環境に配慮した行動を実践していく必要がある。新年度予算において、環境保全型農業を推進するための耕畜連携について、具体的な取り組みを伺う。林産廃棄物による有機肥料づくりについても伺う。

※耕畜連携とは、農家へ畜産農家から堆肥を提供したり、逆に転作田等で飼料用の作物を生産し、畜産農家へ提供するなど、農家が連携を図り安全で安心な畜産物の供給体制の構築及び自給飼料に立脚した畜産経営の確立を推進すること。

【経済部長 答弁】

20検体分の堆肥の成分分析に係る費用の一部を補助する経費と、堆肥を利用した場合の水稲への効果を宇都宮大学と共同研究する経費など249万円余を予算計上。意欲のある稲作農家と畜産農家が集積する地域に入り、需要ニーズに合った資源循環のモデル作りに取り組み、それを市内に普及していく。落葉などの林産廃棄物を活用した堆肥作りは、循環型社会の形成に貢献するものであり、事業化している例もあることから、今後、調査・研究を進める。

2 失業者対策について

環境保全型社会の構築が求められる中であって、現代は産業構造が大きく変わる過渡期にあり、農林水産業などの第一次産業へ業種転換が喫緊の課題である。第一次産業の職を見出すきっかけとして失業者対策を講じてはどうか。

3月1日現在、5,059世帯の生活保護世帯を抱える本市のケースワーカーは40人。国の基準は80世帯に1人なのに対し、本市では126世帯に1人。受給者の自立に向けた支援を行うためには、ケースワーカーの増員が急務だと考えるが、見解を伺う。

【保健福祉部 答弁】

樹木の間伐や林道の維持管理業務などで雇用を予定している。ご提案の耕作放棄地の開墾や里山の維持管理などにおける雇用についても幅広く検討する。

本市農業の持続性を高めるためにも、失業者の方々に、職業として農業を選択いただくことは大変にありがたい事であるため、関係機関が連携し、就農を促進する。

ケースワーカーの配置は、生活保護受給世帯の増加を考慮し、H16年度から5年間で14名増員してきました。新年度は56名に増員し適正な事務執行を行う。

3 「栃木県生活定着支援センター」、宇都宮圏域障害者就業・生活支援センターについて

H21年3月議会においても質問したが、その後、諸問題の解決に向け、どのような検討がなされたのか、県と市との役割分担や連携の在り方について、見解を伺う。

【市長 答弁】

関係17機関で構成する宇都宮市障がい者自立支援協議会「就労支援部会」を設置した。今後、ネットワークのあり方についても検討を進める。

4 新しい公共(NPO)について

社会問題の解決はこれまで、ともすると行政か市場などの人任せになっているが、市民がそれぞれの役割でかわることで課題を解決することが重要である。それぞれの地域でさまざまな社会的ネットワーク活動が展開されることで、「居場所と出番のある社会」の実現が可能となり、より一層活動が盛んになるという好循環が生まれる。これは、単にボランティア活動や社会貢献活動というだけでなく、地域の雇用を創出し、新しい市場を生む。人間のための経済社会にも寄与する事が期待されており今後、「新しい公共」を育てる施策、支援する施策が必要である。「新しい公共」をどのように捉え、問題点や課題は何か、また、新しい公共が自治体の下請けとならないためには何が求められているか、見解を伺う。

【市長 答弁】

本市が進める「協働のまちづくり」と考え方を同じくするものと認識。市民と行政の役割分担を明確にしながら、地域の将来像を住民が選択し、住民自身が新しい公共の担い手として自ら取り組むと共に、行政もその選択を尊重し、実現に向けいかに支援していくかが課題。「(仮称)まちづくりセンター」を整備し、活動基盤強化のため、相談への対応や活動主体間のネットワーク形成などの支援にも努めていく。



1/2 やなせ議員と民主党青年委員会による新春街宣(二荒山前)



1/17 西原どんど焼 無病息災を願い、「まゆ玉」づくり

5 市民意見の聴取について

自治体の事業は、市民との対話によって結論を出していくものだが、中でも審議会等では、会議時間が決められており結果的に行政主導ではないか。会の運営について工夫すべきと考えるが、見解を伺う。

【行政経営部 答弁】

議論の材料として、あらかじめ執行部から素案を提示する手法の他、自由な意見を求める手法など、柔軟に対応していく。

6 地域教育の取組について

本市が提供する出前講座は市民が無料で専門知識を学べる機会だが、十分に利用されていない。地域教育の取組として、市民の主体的な学びのために、出前講座の窓口一元化を図ってはどうか。

【教育次長 答弁】

出前講座は関係各課が、広報紙、HP等により市民へ周知している。出前講座の一覧を市HPに掲載するなど情報提供に努めていく。

7 第3図書館について

第3図書館について、市内の若手芸術家や市民の作品展示の場の設置など、地元と密着した施設運営について、見解を伺う。

【市長 答弁】

ホールやギャラリーの活用方法や、地元資源を活かしたカフェの運営について、指定管理者の募集に当たり参考にしていく。

8 小中一貫教育について

本市は国に上乗せして授業時数を増やしている。学力を伸ばしたいと考えた時、授業時数を増やしても学力が向上するとは言えない。子ども達が主体的な活動を通して養う「総合的な学力」や「生きる力」の育成に関して、見解を伺う。

小中一貫教育の推進に当たり、本市に在籍する約100名程度の社会教育主事の有資格者の能力を活かすべきだと考えるが、見解を伺う。

【教育長 答弁】

国語算数の時間を確保し全教科の基礎となる力を身につける。会話科、宮・未来キャリア教育、宮っ子心の教育、元気アップ教育を展開し、知・徳・体を総合した学力を身に付けた心豊かでたくましい宮っ子を育ていく。

校内業務との関連に配慮する必要があるが、企画調整や情報発信など、社会教育主事有資格者の持つ能力を有効に生かしていく。

9 子ども行政について

子どもたちに見られる育ちの問題が顕在化している。健康、豊かな人間性、自主性、創造性、情操、我慢と努力、これらの育ちが学校教育と家庭だけでは不十分であり、放課後における子どもの育ちに関する総合的な施策が益々重要である。

子どもが育つには、時間、空間、仲間、三つの「間」が必要と言われている。大人が総がかりで児童健全育成の総合的な取り組みを行うべきだと考えるが、見解を伺う。

【教育長 答弁】

宮っこステーションが地域教育コミュニティの拠点の一つとして、すべての児童が自主性や社会性を備えた心豊かでたくましい宮っ子となるよう、更に事業の充実に努める。

10 すべての子ども達のための「シックスクール問題対応マニュアル」の活用について(環境省のエコチル調査の実施を受けて)

近年、子ども達の間でぜんそくなどのアレルギー疾患、先天異常、自閉症や学習困難など発達障害が増加している。これらは、遺伝的な要因や生活習慣だけでなく、化学物質などの環境要因が影響することが動物実験や人の健康に関する事例から分かってきている。環境省では今年度、10万人規模の疫学調査「子どもの健康と環境に関する全国調査」を開始した。本市では、「小中学校におけるシックスクール問題対応マニュアル」を策定し、さらに、昨年9月議会で私が行った一般質問により、全国に先駆けて「幼稚園・保育所のシックスクール問題対応マニュアル」が策定された。諸外国の調査では、2～3歳までの幼児への取り組みが重要であると出されており、マニュアルを大いに活用すべきと考えるが、今後の活用方を伺う。

【子ども部長 答弁】

未然に防止できるよう、予防に力点を置いたマニュアルを本年1月に作成し、公民問わずすべての保育所71園、幼稚園49園、保育ママなど合計124か所に配布し、きめ細かな対応を周知した。新年度には、意識を高め適切な対応ができるよう、園長はじめすべての職員を対象にマニュアルに基づく研修を実施し、共通理解を図るとともに、保護者に対しても理解を深めていただけるよう努める。

11 まちづくりについて

オリオン通りアーケード改修の際、ラスベガスのようにアーケードに電飾を施し、「夢」のある演出をしてはどうか。

【市長 答弁】

中心市街地ならではの演出を、商店街と一緒に検討していく。



2/13「宇都宮市男女共生社会をめざす市民のつどい」で、パネラーを務める



2/26「福田ちえ後援会新春の集い」やなせ進議員より挨拶をいただく

一国の予算の中身と政策が変わり、新たな国づくりがスタート 主要政策の実績（抜粋）



ムダづかい根絶

- 不要不急の予算削減
前政権が作った補正予算を検証し、経済対策の効果が乏しいと考えられるものを約7,000億円削減しました。
- 事業仕訳で「ムダづかい構造」にメス

いのちを守る予算へ転換

- 「コンクリートから人へ」の理念に基づき、公共事業予算を18%減
そして社会保障(9.8%増)、教育(5.2%増)などに税金を重点配分
- 見過ごされてきた弱い立場の方々にも政治の光
生活保護の母子加算復活や父子家庭も児童扶養手当の対象にするなど、社会的に弱いの方々に対しても、きちんと支援の手を差し伸べていきます。
- 10年ぶりに診療報酬を増額

地域主権を推進、地方交付税1兆円以上の増額
天下りバンク「官民人材交流センター」の廃止
社会全体で子育てを支援

○子ども手当
6月から子ども1人当たり13,000円の手当を支給開始
希望する人すべてが学べる社会の実現

○高校の実質無償化もスタート
日本の農業の再生、安全・安心の食の実現

○農業の戸別所得補償（予算3,371億円）
まず、米を対象に、米戸別所得補償モデル事業を実施
地域活性化への第一歩

○高速道路の原則無料化（予算1,000億円）
格差是正に向け、雇用セーフティネット

○雇用対策
非正規労働者255万人も雇用保険に加入
失業者の国民健康保険を約半額に
無料職業訓練、訓練中の生活支援(月額10万円)を拡大
求職中の住宅手当制度も利用しやすく
派遣社員の雇用を安定(製造現場への派遣を原則禁止、日雇い派遣禁止)



福田ちえ●PROFILE

1965(S40).3.16生まれ O型

同居の家族：夫、娘3人(高3、高1、中2)、義母

- 宇都宮市立西原小学校、宇都宮市立一条中学校、
県立宇都宮工業高等学校、日本工業大学システム工学科卒業
- 1987-1993 足利システムサービス(現：あしぎんシステム開発)勤務
- 1998-2004 西原小留守家庭児童会保護者会会長
- 2000-2002 やよい保育園保護者会副会長
- 2001-2005 前衆議院議員 水島広子秘書
- 2004.4-2006.3 西原小学校PTA会長
- 2006.4-2007.3 西原小学校PTA副会長
- 2006.4- 一条中学校PTA常任理事
- 2007.4-2009.3 西原小学校PTA会長
- 2007.4-2010.3 西原小魅力ある学校づくり地域協議会会長
- 2007.4 宇都宮市議会議員 初当選

【所属】民主市民連合議員会

- 2007.6-2009.6 教育問題調査特別委員会
- 2007.6-2008.6 文教消防水道常任委員会
- 2008.6-2009.6 厚生常任委員会

【現在の主な役職】

- 市議会 総務常任委員会
- 市議会 福祉のまちづくり調査特別委員会
- 宇都宮市PTA連合会常任理事
同 教育課題委員長
- 一条中学校PTA副会長
- 一条中魅力ある学校づくり地域協議会副会長
- 西原小魅力ある学校づくり地域協議会委員
- 西原小子どもの家運営委員長



市民の力で議会改革を進めるために、 議会傍聴に行こう！

【6月定例議会】

- 5/12(水) 常任委員会
/18~20 市議会会派視察
- 6/2(水) 議会運営委員会
/8(火) 議会運営委員会
- 6/9(水) 本会議開会
/15~18 本会議一般質問
/21(月) 常任委員会
/22(火) 常任委員会
/23(水) 議員協議会・分科会
/28(月) 議会運営委員会
/29(火) 本会議閉会

民主党の参議院議員紹介



津田やたろう



やなせ進

公約実行で日本を変える。

カンパのお願い。「福田ちえ」の活動をご支援ください！

ゆうちょ銀行 口座：00110-6-705971 名義：福田ちえ後援会